

敵前 逃亡

R-18
For Adults Only



敵前逃亡



貴様等に
勝ち目はない！
大人しく
投降しろ！

キュアハニーの頭が
粉砕される様は
見たくはないだろ！

オ

オ

オ

オ

オ



あっ……ああ……

もう駄目だよ
勝てっこ
ないよ……



……

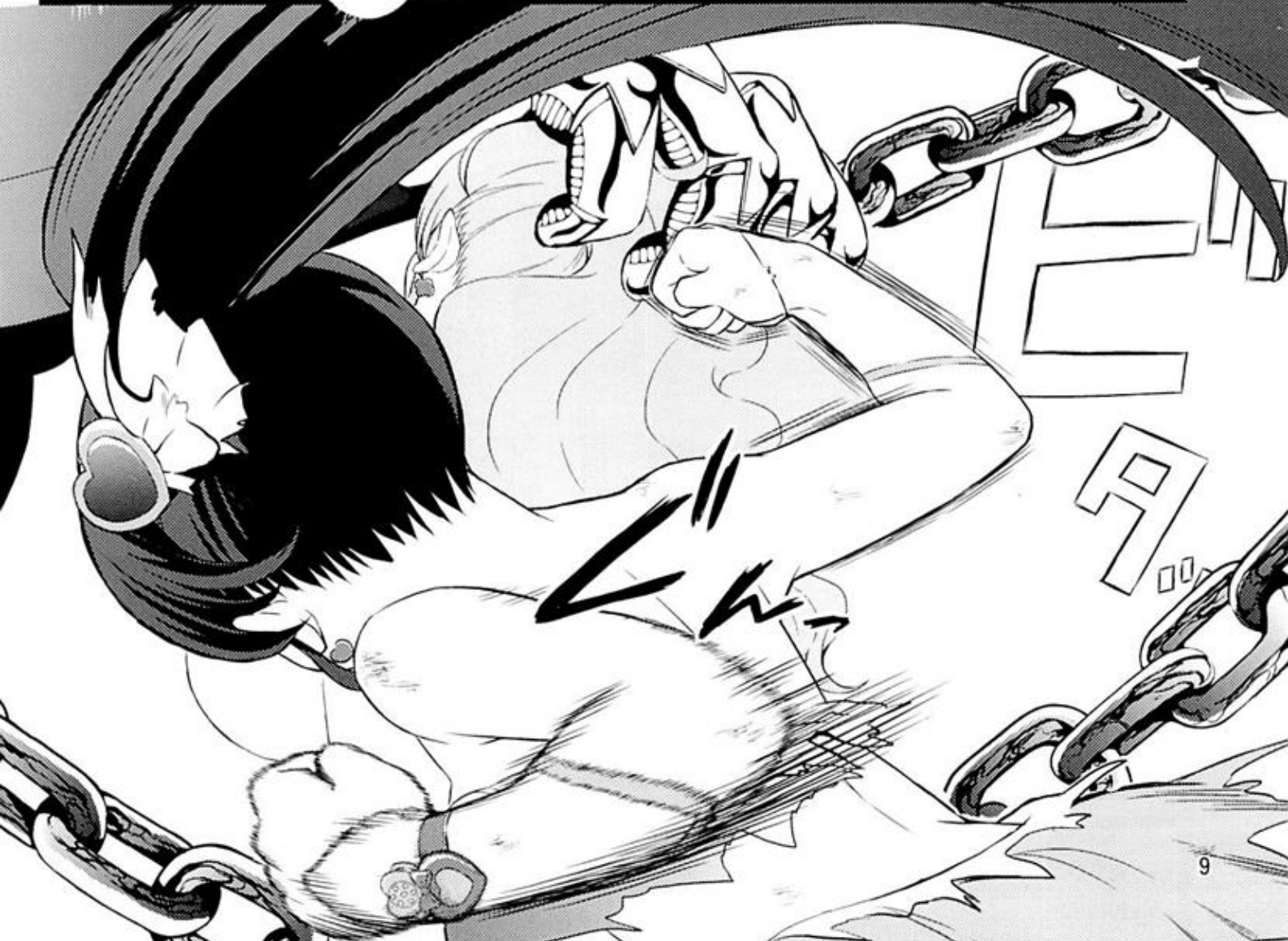
ガラッ



私達は
負けたんだ!!!









十二番女女女!!









ひょーっ

私二人で……

どうしよう

どうすればいいの？

何かしなきゃ

何が出来るの？

……逃げなきゃ



それにいざとなれば
フオーチュンだつて
いるし……





びかり神社の方に
向かってるぞ

何かの作戦
なのか？

でも、何か様子が
おかしくないか？

まさか…

ザッ

はあ

はっ

はっ

はあ

はあっ

逃げた!?

はあ

他のフリキニアを
見捨てて

ザッ
アアア



プリンセスが
逃げたぞ!!

俺達とこの街を
見捨てて一人で
逃げる気だ!!

あいつにとっちゃ
街の人間の生活なんぞ
どうでもいいのさ!

なんて奴だ!!

あんな力をもった
プリキユア達から
すれば幻影帝国同様
俺等を家畜程度にし
か
思っていないのかもな

くそっ...



あいつがもつと
頑張りさえすれば
負けずにすんだかも
しれないのに……

そうだよ……

幻影帝国に負けたのは
あいつのせいだ!



追え!!

あいつを
許すな!!

最低の
プリキユアだ!!



ひめ…

どうして……



プリンセスは
あなたに災いを
もたらす！



てこずらせ
やがって



追え！
プリンセスを
逃がすな！！

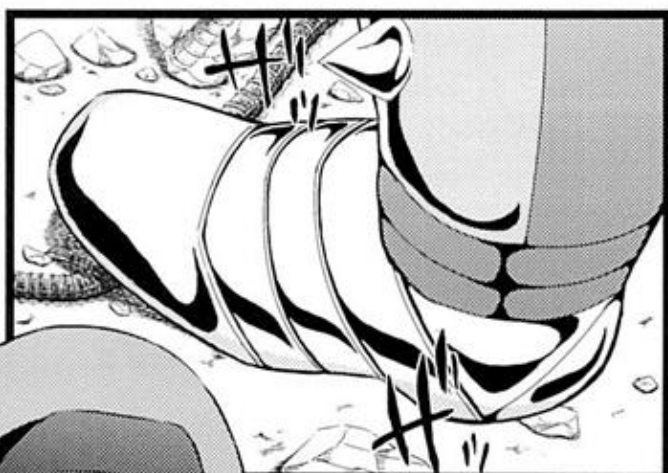
連れ戻せ！

責任を
取らせろ！

くっくく……

家畜は素直で
助かる

オレスキー様
後はおまかせを……





死んだほうが
まだわ!!!

お姉ちゃんの
ように……
あなた達の
慰みものになる
ぐらいなら



姉だと?



そうか
貴様……

あの時の……



殺しなさい……

キュアテンダーの
妹だったのか

そう……
あの日から私は
あなたを殺す事だけを
考えて生きてきた

しかし
それが潰えた
今……

連れて行け

辱められる屈辱の中
あの方に歯向かった
罪深さを悔いるがいい

クインミラージュ様は
貴様らが簡単に
死ぬことを
お許しになられない

っふ



あいつは
役目を果たさず逃げた
最低のプリキュアだ!!

私は悪くない!!

プリンセスを
捕まえろ!





蔦が生き物
みたいに!?

A circular callout containing the text '蔦が生き物 みたいに!?' (Like a living thing like a vine!?).





黙れ!!

俺達を見捨てて逃げるような奴の言う事なんか信じられるか!



運の悪い奴だ

蕨が絡まるなんてな

かき

神にも見放されたか!



違う…

蕨が勝手に…



こいつはブリキユアとしての責任も果たさずあまつさえ仲間を見捨てて逃げた卑怯な奴だ



それでこいつどうする?

幻影帝国の前に突き出して戦わせるか?

いや…



この恐怖に怯え切った顔を見てみるよ

こんなんじゃ何の役にも立ちやしねーよ



こんな奴には罰が下されるべきだ!





お、おい！
あんた何
してんだよ？

こんな事
したら捕まる
だろ……

安心しろ
もう幻影帝国に
統治されるんだ
法律自体
なくなっちゃう

そ、そうか……
そうだよな……
それなら……

いやっ！

痛いってば！

放して！
やめてよ！



裸のメス豚への
制裁とくれば……



やっぱり
これしかねーよな



へっ！
腕輪さえなければ
本当たりの女だな！



んんっ……





もう やめてよお...

やだよお.....

放して.....



ちゅっ
手だなあ!

怖い.....



ほら、しっかり
握れよ!

助けて.....



いやあっ!!
やだーっ!

痛いよ!!

穴もちゅっちえなー
こりやチンポぶちこんだら
相当気持ちよさそうだ!

くちゅっ.....

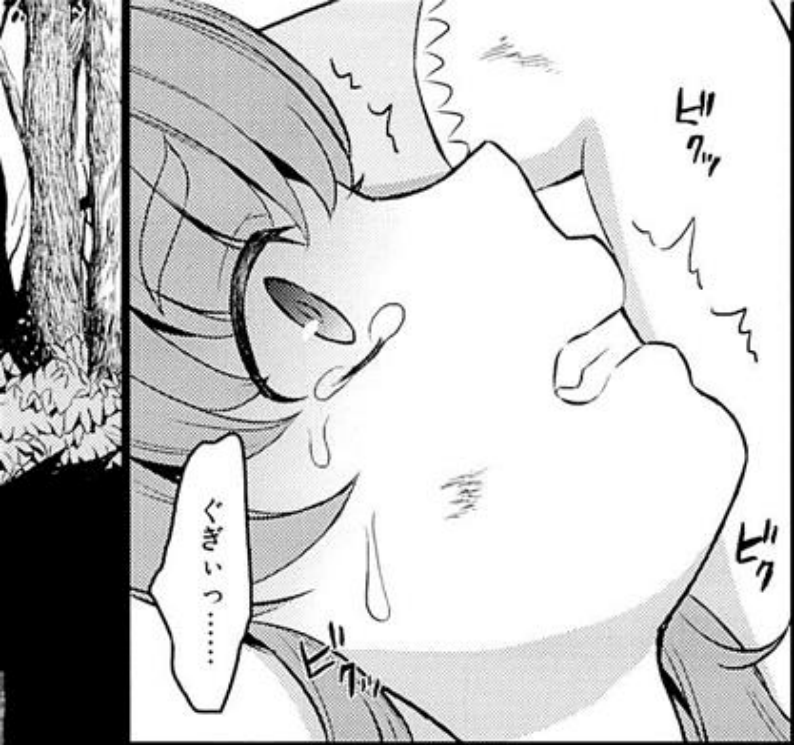
ぬと.....



痛っ!

やめっ.....

くちゅっ



……



ズ
ズ
ズ



思ったとおり
きつつきつ
じゃねーか!

痛っ!
痛いっ!

やめて
死んじゃうよ!

苦し……い!

やだあああ!!!



死んじやう!

死んじやう
つてば!!



はあっ

ぐう……

抜い……て!

もう許して!



死ぬう!

いやああ!

ぎやーぎやー
うるせーな!



やめてえ!

いやああ!

あんまりうるせーと
殺しちゃおうぞ！

本当ならナイフを
突き立ててやりたい所を
チンポで我慢して
やってるんだからな

んっ！
んぐうっ！

っま、殺しちゃった後でも
ブリキユアってだけで
十分楽しめるけどな！

んーっぐう！

ん……





めぐみとゆうこ
どうしてるだろ……？

うまく逃げられた
かな？

私のこと
きつと怒ってるん
だろうなあ

もう……嫌われ
ちゃった……よね……

あの時……
攻撃しておけば……

失敗したとしても
私がめぐみの盾に
なっていれば……

私がサイアークに
やられていれば……

ううっ……

ぐっ……

ひゅっ……

チンポが良すぎて
よがり泣きか？

こんな事になるなら
逃げなきゃよかった……

ズル
ズル
ズル
ズル
ズル

やっぱりプリキュアの
泣き声ってのは
最高に興奮するぜえ!!!

おっと
今はただのメス豚
だったな!

オラ!
出すぞ!!

良い声で
鳴けよ!!

おおおおおおおおおつづく!!!

うっううう...

えぐっ...

うぐっ...

ト
ヒョ
ユッ

ト
ヒョ
ユッ

あっあっ

ああああー!!

はー
はー...

おらっ
こっち向け!
テメーの情けない
泣き顔見せろや!!

うぐうっ...

うううっ...

ヒック...

ヒック...



めぐみ……
今どうしてるかな……



はっ……
ふはははははは！

最高に気持ち
良かったぜ！

ばい、
売女じゃ
味わえない究極の
満足感だ！

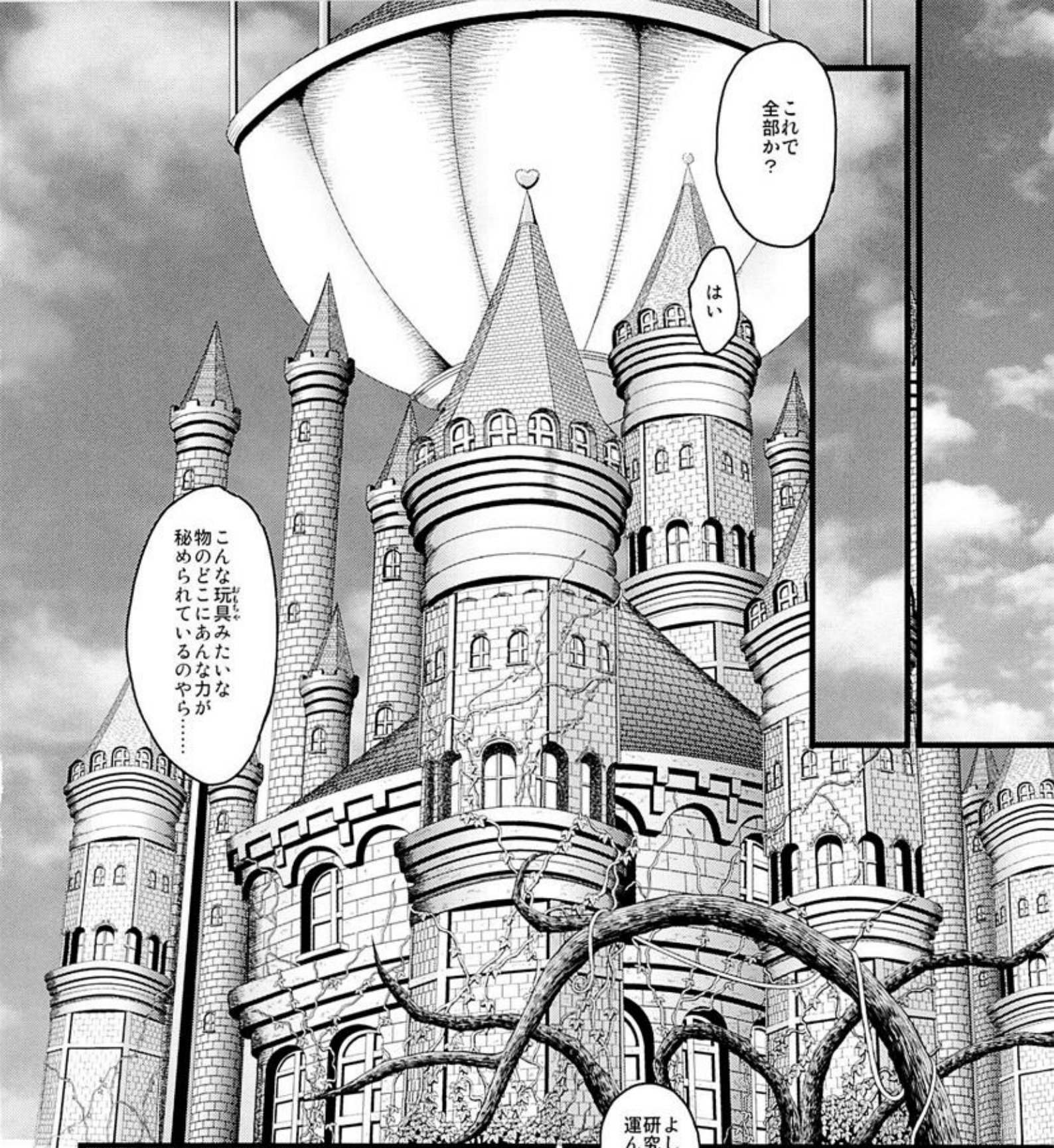
お、俺に
やらせてくれ！

グスッ……

さあ次は
どいつの番だ？

汚れちまったが
こんな極上の
女そうそう
味わえないぞ！

いや次は俺だ！



これで
全部か？

はい

こんな玩具みたいな
物のどこにあんな力が
秘められているのやら……

よし！
研究所に
運んでおけ

くれぐれも
他の幹部に
悟られぬようにな

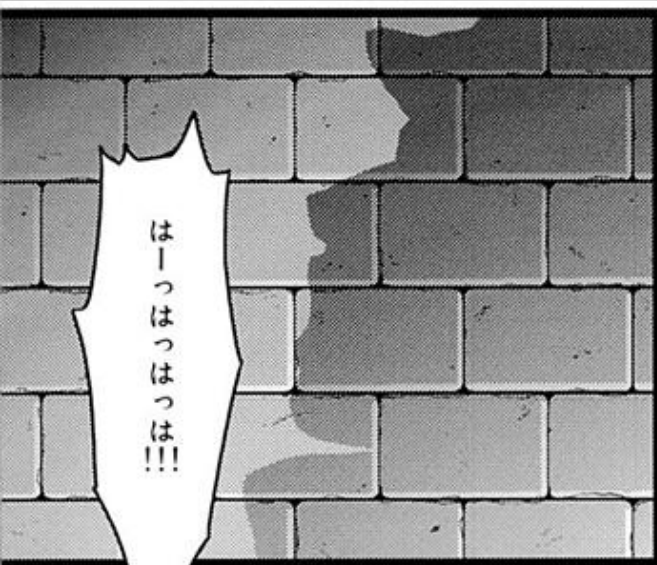
はい！



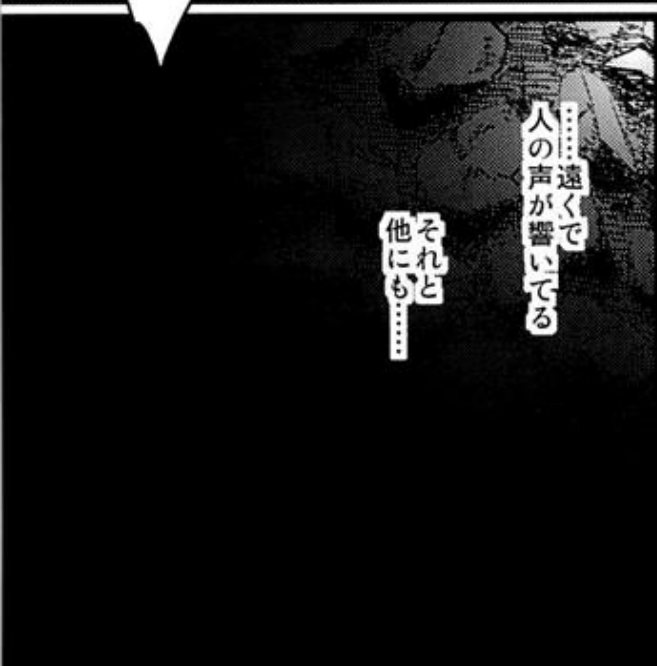
や

しかし腕輪の
力を解析し
軍事転用できれば
我が幻影帝国が……

俺様が……
ふふっ



はーっはっはっは!!!



……遠くで
人の声が響いてる

それと
他にも……



腕輪の解析も大分
進んだものの
未だプリキユア以外には
使う事ができんとはな……



この息遣いは何なの……？

グフウー…
グフウー…

フシユルー…

カピの匂いに混じって生臭い風が…

はあ
はあ

うっぐ…

意識が…はっきりしない体…も…動かない…

クサッ

クサッ

ここは何処なの…？

このお腹の疼きは…？

強く打ち付けられる度に意識が少しずつ…戻って…

ズクン
ズクン



お腹の痛みと衝撃がどンドン大きくなる…!!

あつぐうつ

くうっ…

はああっ…

ふああっ…





ブフウー!

グウハー!

サイアーク
醜悪兵士!!?

いっ
あっ……

ああ!

いやあああああああ!!!

ズル...

ズル...



痛い!

あっ...

ぐうっ...

どいて! 放して!!

はあっ

はぐうっ

逃げなきゃ...

力が入らない...!?



あああ……!?

いやああ!!

グッ

プシユルルウウ!

あと……
ちよっとで……

グッ

グヒィー!!

あっ……
があっ

グッ

グッ

ぐうぎっ……

があっ!

苦……しい……

体……が
干切れ……そう
なる……

はっ
はっ



サイアークに
舐められた所の
痛みが消え……

グハァー……

ひっ……

な……
えっ
何？

ヒキッ

ヒキッ

ヒキッ

んっ……
ううん
それどころか
変な感じに
なって……くっ



うっ
くう!

気持ちいい!!

ヒキッ

グハァー……

ぬっ……

ゴッ

あはあっ!



ヒキッ
ヒキッ

あっ
んん……

ヒキッ

ヒキッ

だ……だめえっ!?





体中の感覚が……
おかしく……な……つ……て……く……

サイアークの
唾液のせいなの……？

んっぐ……
んぐ……

んふー

んふー
んっんん……

気持ちいい……



声が自然に
出……ちやう……

んっ！
んあっ！

はあっ！



さっきまでの
あの苦しみが
嘘のよう……

んっ……

はっ
はっ

んあ……
んっん……



こんなの
私じゃない!

ブヘエー

ブシユツ!

ンギイヒー!!

がはっ!

いやあー!!

もうやめて!

あぐうっ!?

あああっ

あああっ!?

はあ

何かがお腹の中で
広がって!?!?

はうう!

いやああ!

早く抜いて……

抜いちゃいや!!

はあ

吐き気がする……

気持ちいいよ!!

もうやめて……

やめないで!!

体と心が分離
してしまえそう……



あぁっ

あっは…

あぁっ!!

はあー

はあー

はあー

もっど…

もっど…奥までっ!!

かき回して!!

んんっぐう!!



プシュー

ゲビィー



あ…あっ

あぁあ……

もう…だ…め……



はああ

ああああ!!

それ以上
射精さないで!!

もうやめて!

ゴフー!
ゴフー!

ああ...
んっ...

この感覚に体が
包まれると...

自分が狂っていく
のがわかる...

だっ...



ブルブル

はあ

はあ

はあ

はあ

おまんこ



んっ...

はあ...

あそこから零れ落ちる
精液を勿体無いと
感じてしまうほど...



ブルブル

気持ちがいいんだもん...

ああ... ぐっ



!?

きゃあ!

たぶ
ん

気を失ってる!?

ゆうゆう……

サイアークが
何処かに行った?







俺はあの時の瞳を
一日たりとも
忘れた事はない……!

燃え盛る炎は
仲間を瞬時にして
黒墨に変えた……

一人残された俺は
あまりの恐怖に
立ちすくみ
逃げることさえ
出来なかった……

だが俺は運よく
生き延びる事が
できた……

そう思って
いたんだ……

はっがあ……

ぐっがあが……

……っ

貴様のあの瞳を
見るまでは!!

そう……

貴様に
とって俺は

生きていた所で
何の障害にもならない
道端の枯葉程度でしか
なかったんだ

何が酷いだ……

そんな残酷な事を
平然とこなすお前に
言われたくねえんだよ!



それに貴様に
焼かれたこの顔の
恨みがやつと
晴らせるんだ

これほど心が
踊るもんはねえだろ？

やめ……

はあ……

あっ！

いや……

いやっ！

今からたつぷりと
おれたちナンホ
枯葉の存在を
認識させて
やるからな！！

これから貴様は
俺達の便器だ！
オナホ

あああっ！

何万って兵士が
代わる代わる
ハメるんだ
覚悟しとけ！

あああっ！！



ほんの数時間前まで
最強戦士だったのにな

屈辱だろ？
死にたくなるだろ？

俺等の気持ち
少しは理解できたん
じゃねーか？

んーふっ…

んっ…

んっ…

いつもならサツと
お色直しして
ヒラッと舞うだけで
俺達を消し去る
天下のプリキユア様がよお！

うぐっ…ぐっ

グググ…

今は俺達のチンポで
串刺しにされて
泣き喘ぐしか
できねーんだ…

最っ高の気分だぜえええ!!!

おおおおおお!!

ゴッスッ

んぐうっ!

ゴッスッ

んふーっ

んふーっ

んんーっ!!



はあ…

ああっ…

あっ



あっ

んっ

んん…

ひんっ…

ビクビク

ソッソッ



ああんっ!

たぶん

やんっ!

たぶん

エロい喘ぎ
出しやがって!



だめえっ!

はあっあ!

くっ…

お前みたいな奴は
プリキアなんかより
俺等の肉便器の方が
よっほど
お似合いだろうが!!

ああっ…

それにしても
何て体してんだ
このメス豚は!



これからは
この体を生かして
肉便器として
しっかりやれや!

いやんっ!



何でこの体は
こんなに
感じてしまうの!?

はああんっ!

あはー!

はー!

ああんっ!

あっ

ああんっ!

はあっ
はあっ

戦いの中では
どんな苦痛にも
絶えられたのに……

快楽に簡単に
負けてしまう
自分がくやしい……

はひっ……

ああんっ

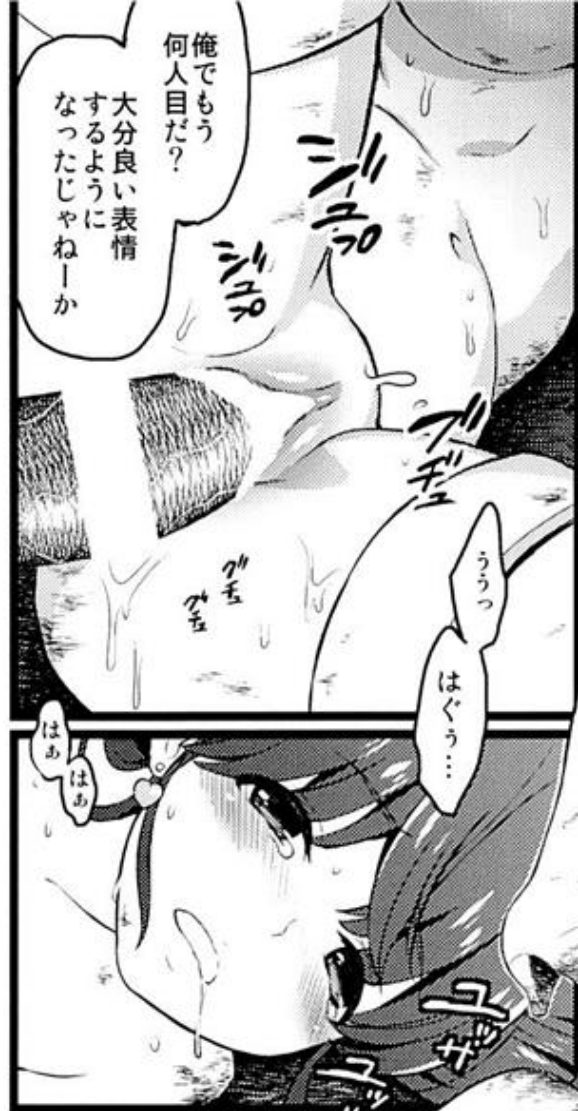
くおお

おおおおお!!

はああああんっ!!

だめええええ!!





俺でもう
何人目だ？
大分良い表情
するよ
なつたじゃねーか



はぐう…
はあ…
いやあ…
はあ…
んっ…

もう
やめ…て…

んはっ…



やめたいのか？

抜いて…

い…やあ…

ふうん…

だったら数センチ
動くだけで簡単に
抜けるぞ？
どうした？
ほら！

何で!?
どうして体が
動いてくれないの!?

それどころか
抜けないように
自分から
あてがってる…



今まで色々な国の
メス豚を抱いて
きたけどよ

こんなに
気持ちいい
メス豚は
いなかった……

ああん！

んんっ……

あんっ！
はあっ！

だめえ……
ああんっ！

キュアハニー！
最高だよ！



そろそろ
出ちまいそうだ……

どこにぶちまけて
欲しいか言え!!

そのでかい
胸か？

それとも
俺のチンポに
よがるその
だらしない顔に
ぶっかけて欲しいのか？

突く旅にマン汁が
溢れ出るマンコに
中出しか？

はあ

頭の中が……真っ白で……
答えられない……

はっ

ああんっ

ああっ

はあっ

あっ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

あんっ

あんっ



オラッ!!

さっさと答えろよ!
このメス豚が!!

やめち
まうぞ!

だめえ!

な...
か...

一番...
奥...

はあ

...欲しい

ああああ

ああああ!!!

ああっ...

あああ...あ

あああ.....

ズッ
ズッ
ズッ



オラッ!
出すぞ!

ゴッ
ゴッ

あっ
びん

んんっ

ああっ

またあれが
くる……っ

はあ
はあっ

あああああ……

アッ
アッ

ゴッ
ゴッ

アッ
アッ
アッ

あっああ
あああああ!!



あ……くう……

スリル!!



ふっ…

はははははっ!!

はははははっ!!



本當こいつ等は
純粹だな!
奴が助けに
来る訳ないだろ!

……どうい
うこと!?



神様……

早く……
助けに
来て……





ちよつと考えれば
解るだろ

お前等はプリキュア
として戦うリスクを
聞かされたか？

負けたらどう
なるのか…

正体がバレ時
家族や知人に
どんな危険が
およぶのか…

聞かされては
いないだろ？

どうせ
可愛らしい
アイテムを餌に
聞き心地の良い
話ばかりされた
はずだ

プリキュアに
若い女しか
居ないのは
何故だと思ふ？



それはな…

人生経験の少ないガキ
特に女は簡単に騙して
洗脳できるから
なんだよ！

お前等は
捨てられたのさ

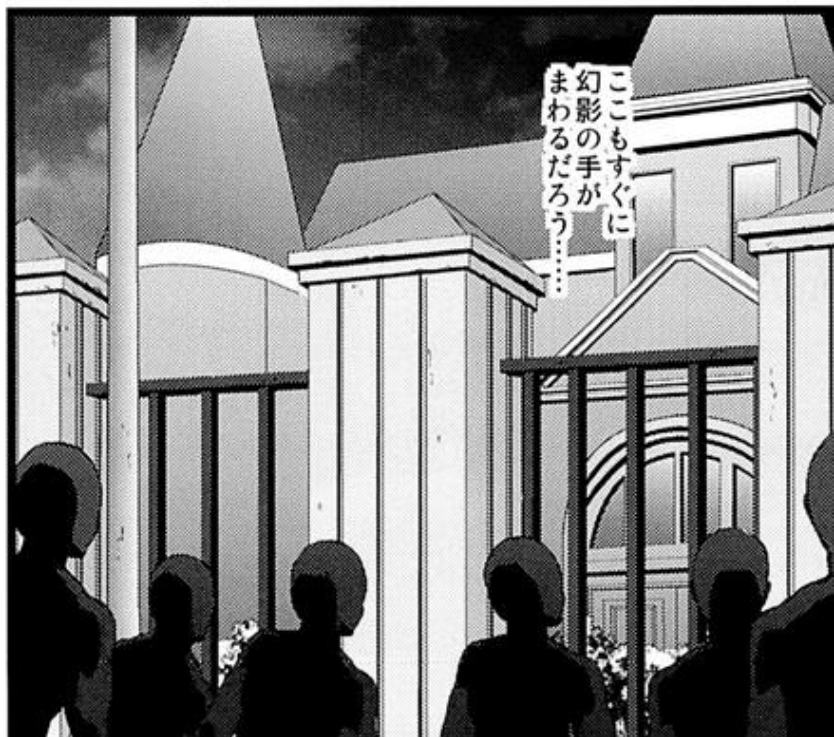
私は…

捨てられ…た？



あの野郎^{ゲス}にとって
プリキュアは
自分の身を守る為の
ただの駒だ！

今頃奴は新しい駒を
求めて少女を^{かどわ}拐かして
いるだろうよ



神
ブ
ル
ー

敵

前

逃

亡



2014年8月17日発行

サークル 山田一族。(もきゅ 袋小路)
URL <http://yamadaweb.sakura.ne.jp/>
MAIL kouya812jp@yahoo.co.jp

印刷 マツモトコミックサービス

無断転載、複製禁



山田一族。

Printed by

mcs